

広報

しいば

2007
OCTOBER
No.648



平成19年9月23日撮影

力を込めて 歯を食いしばり「エイサッ！エイサッ！」
松尾中学校・松尾地区 合同体育大会

10

「椎葉平家まつり2007」

歌い継がれ、語り継がれる悲恋の物語

今から約八百年前、壇ノ浦の戦いで源氏に敗れた平家の武士たちは、山深い椎葉の地に逃げ延びつまい暮らしを送っていました。この平家一族のことを知った源頼朝は那須大八郎に落人の追討を命じますが、貧しい彼らの暮らしぶりを目の当たりにした大八郎は追討を断念。彼らに農耕のほどきをし、厳島神社を勧請するなどして彼らと共にこの地で暮らすようになります。やがて大八郎は平家の末裔である鶴富姫と恋に落ちますが、鎌倉からは帰還の命が。すでに懐妊していた鶴富に「男子が生まれたら我が故郷下野の国へ、女子なら還わずに及ばず」と言い残し大八郎はこの地を後に。月満ちて鶴富は女子を出産し親子共々、椎葉の地で穏やかな日々を送ったと伝えられています。この二人の悲恋の物語を取った「ひえつき節」は今もこの地で歌い継がれ、語り継がれています。



【ゲスト:石原詢子】

11月11日(日)

おこし物産カーニバル	② 宮の下広場
作品展	⑤ 中央ステージ
館特別展示「椎葉神楽展」	⑦ 開発センター
フリーマーケット	① 民俗芸能博物館
えび街が好きになる運動	⑨ すこやか館前
ブニングセレモニー・餅まき	④ 宮崎交通車庫前
ひこ発表会	⑥ 中央ステージ
猪鍋	⑧ 中央ステージ
尾八重ひえつき節踊り	⑦ 開発センター
下土野山法師踊り	④ 宮崎交通車庫前
梶尾源流太鼓	⑤ 中国本店前
パレード・大和絵巻武者行列	⑥ 中央ステージ
最影	② 上椎葉街道 ～鶴富屋敷(逆瀬)
芸能の夕べ	③ ふれあい広場
家大いちょう太鼓・民謡会	④ 中央ステージ
河内神楽・向山日添神楽	

8:30～	むらおこし物産カーニバル	② 宮の下広場
8:30～15:30	各種作品展	⑤ 中央ステージ
8:30～17:00	博物館特別展示「椎葉神楽展」	⑦ 開発センター
9:00～15:30	青空フリーマーケット	① 民俗芸能博物館
	ひろえび街が好きになる運動	⑨ すこやか館前
9:00～	剣道大会	④ 宮崎交通車庫前
9:30～10:30	ミニコンサート 宮崎学園高等学校吹奏楽部	⑧ 椎葉小学校
10:40～11:40	平家の里・コンサート～石原詢子椎葉に歌う～ ゲスト:石原詢子(*MRTラジオ公開録音)	⑥ 中央ステージ
11:00～	椎葉猪鍋	⑦ 開発センター
12:10～	●尾八重ひえつき節踊り ●梶尾白太鼓踊り ●古郷太鼓扇一座	④ 宮崎交通車庫前
13:00～15:00	街頭パレード・大和絵巻武者行列	⑤ 中国本店前
15:00～15:20	記念撮影	⑥ 中央ステージ
15:20～	閉会行事	② 上椎葉街道 ～鶴富屋敷(逆瀬)
		③ ふれあい広場
		④ 中央ステージ

椎葉平家まつり2007

●駐車場及び各イベント会場案内図●



11月9日 金

11月10日 土

9:00~17:00 博物館特別展示「椎葉神楽展」
18:00~20:30 鶴富姫法楽祭 ●神事●琵琶演奏●神楽●記念撮影

① 民俗芸能博物館
③ 鶴富屋敷～
⑤ 中央ステージ



プログラム



8:30~	むら
8:30~16:30	各種
8:30~17:00	博物
9:00~15:30	青空
	ひろ
9:10~	オー
10:10~12:00	やま
11:00~	椎葉
	郷土
	芸能
	披露
12:10~	
13:00~15:00	街頭
15:00~15:20	記念
	郷土
18:00~20:30	●平
	●大

** フォト トピックス 笑顔の敬老会 **



▲平寿園 (9月14日)



▲梅尾地区 (9月16日)



▲仲塔地区 (9月17日)



▲松尾地区 (9月9日)



▲鹿野遊地区 (9月17日)

*** フォト トピックス 体育大会 ***



競



狙



技

松尾中学校
松尾地区合同
(9月23日)



踊

東白杵郡
(門川町・9月2日)



投



走



喜



輝



勇

椎葉中学校
(9月18日)



感



躍



将





我が家の家計簿

(椎葉村の財政状況)

= 平成18年度の決算を報告します =

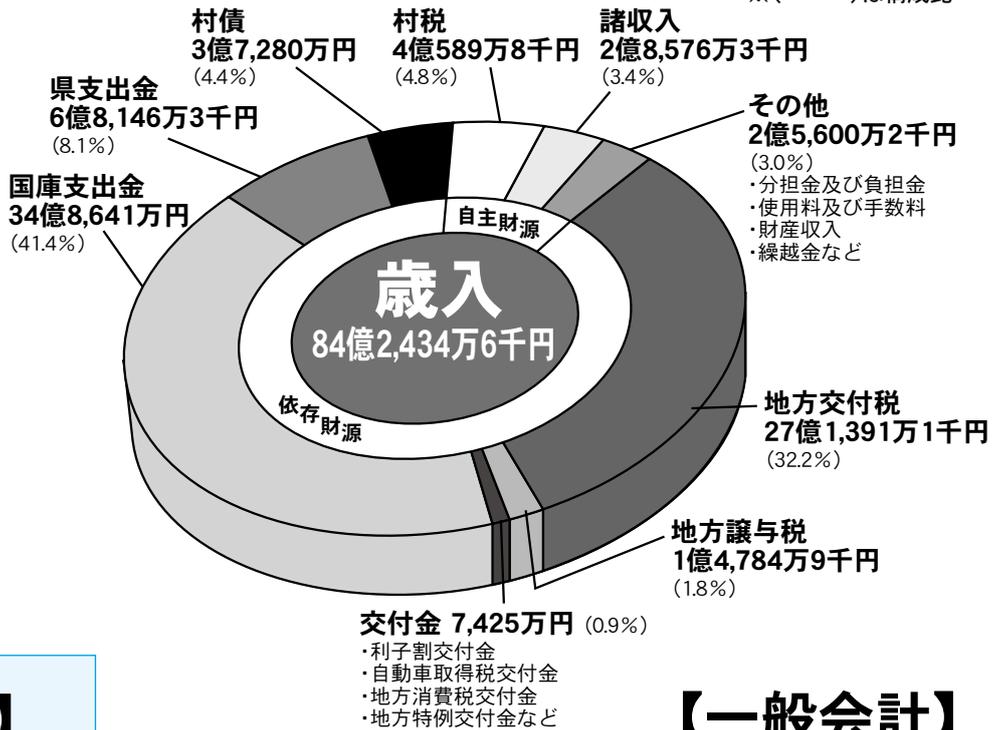
※()は構成比

自主財源とは

自主財源とは、村税・分担金及び負担金・使用料及び手数料など、自治体が自らの意志に基づいて徴収できる財源です。

依存財源とは

依存財源とは、地方交付税・国庫支出金など、国や県から交付金を受けた収入をいいます。

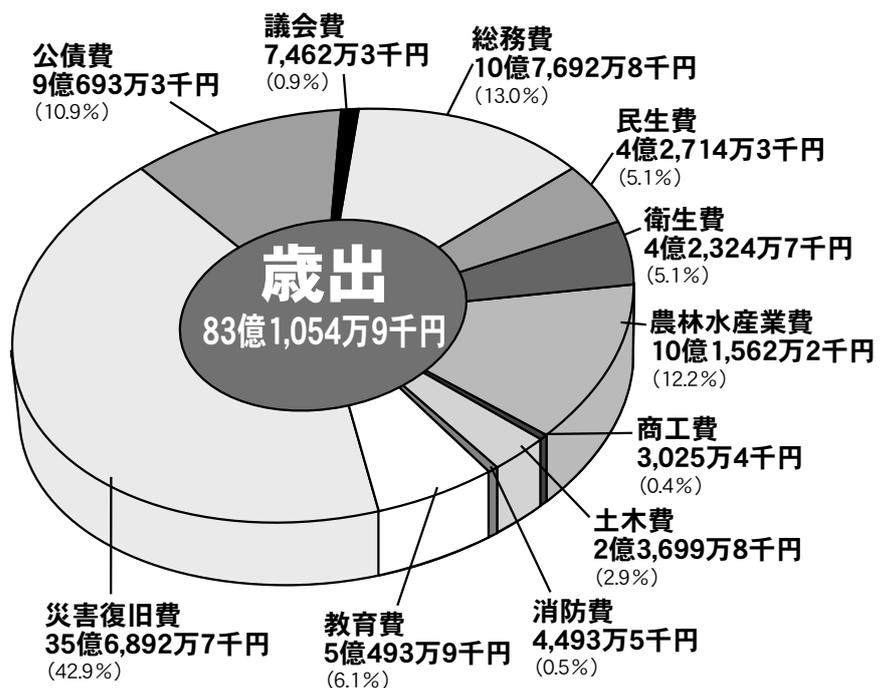


【特別会計】

(単位：千円)

■国民健康保険	歳入	445,704
	歳出	435,371
■老人保健	歳入	410,399
	歳出	410,374
■簡易水道事業	歳入	50,323
	歳出	49,042
■国民健康保険病院事業	歳入	559,733
	歳出	538,882
■電気事業	歳入	43,200
	歳出	50,087
■介護保険	歳入	317,287
	歳出	309,034

【一般会計】



決算の概要

平成18年度一般会計の決算額は、歳入総額84億2,434万6千円（前年度比0.7%減）に対し、歳出83億1,054万9千円（0.2%減）となり、差引1億1,379万7千円で翌年度繰越財源は3,786万3千円で、実質7,593万4千円の黒字となりました。

また、自治体の財政状況を示す数値、経常収支比率は80.6%（3.3%減）、実質公債費比率は16.7%（3.5%増）となりました。今後も予測される地方交付税の減額など、財政事情は極めて厳しい状況にあります。諸政策を総合的かつ計画的に推進しながら、引き続き経費節減に努め、財政構造の弾力化、さらには効率的財政運営の構築を目指していきます。



【平成18年度一般会計の主な事業】（単位：千円）

総務費

村営バス運行業務	39,943
電算管理費	4,429
地籍調査事業	30,405
椎葉平家まつり	25,003
県議会議員・県知事選挙費	5,811

民生費

災害救助費	23,909
高齢者住宅改造助成	3,870
老人保護措置事業	10,728
障がい者施設サービス支援	31,755
身体障がい者住宅改造助成	1,800
予防接種事業	4,510
児童館・保育所運営費	62,314

衛生費

合併処理浄化槽設置事業	37,807
ごみ焼却施設運営費	23,544
塵芥処理費	23,512
し尿処理費	54,781

農林水産業費

経営構造対策事業	112,325
中山間地域直接支払交付金	43,993
国土保全造林	22,741
公有林整備	23,935
森林整備地域活動支援交付金	93,995
林道開設舗装事業	160,116
林地崩壊防止事業	57,731
元気のいいふるさとづくり事業	11,500
林業構造改善事業	74,895
獣害防止対策事業	4,200
優良雌牛導入貸付業	15,000
畜産関係補助事業	15,033

土木費

村道維持費	53,645
木造住宅建築支援事業費	6,851
住宅維持管理	32,522
災害関連地域防災	41,073
村道改良・舗装事業	23,800
地域住宅交付金事業	41,473

教育費

づくり推進費	4,381
文化財保護費	29,538
中学校管理費	87,334
寄宿舎運営費	39,805
公民館	5,821



【財政の状況と用語の説明】

■財政力指数 0.178
（町村平均0.311）

市町村の財政力を示す指数。1に近いほど普通交付税算定上の留保財源が大きく、財源に余裕があります。

■経常収支比率 80.6%
（町村平均89.5%）

財政構造の弾力性を測定する指標。この比率が低いほど新たな行政需要に弾力的に対応し、経済変動にも的確に対処することが容易になります。

■実質公債費比率 16.7%
（町村平均15.0%）

自治体収入に対する借金返済額の比率。従来の起債制限比率には反映されなかった一般会計から特別会計への繰り出し金も含まれ、自治体の財政実態をより正確に把握できます。18%以上になると、新たに地方債を発行して借金をする際、財政運営の計画を立てて国や都道府県の許可が必要。25%以上だと、単独事業の地方債が一部認められなくなり、起債制限団体となります。

■積立金現在高 24億7,600万円
（町村平均15億1,300万円）

特定の目的のために財産を維持し、資金を積み立てたもの。または定額の資金を運用するために設けられているものことです。



▲尺八と三味線の伴奏に「庭～の山椒お～のお木い～」。

姫との出会いで生まれた歌詞に
歌い継がれる仕事唄

第21回

ひえつき節 日本一大会

9月8～9日、第21回ひえつき

節日本一大会が開発センターで開催されました。今回出場したのは正調・一般・少年少女の3部門に県内外から190人。作業着や法被^{はっぴ}、着物や羽織袴^{はおりはかま}など思い思いの衣装を身にまとい、自慢のものを披露して日本一の座を争いました。

※商工会、日向農協、森林組合、宮崎銀行の村内各支店長より特別賞を提供していただきました。ありがとうございました。

正調の部

優勝	椎葉アスエ (椎葉村)
準優勝	野村ケサ子 (椎葉村)
第3位	高見イクエ (日向市)
優秀賞	芝 絶子 (西都市)
優秀賞	田丸 嘉男 (諸塚村)
優秀賞	椎葉きよ子 (椎葉村)
優秀賞	椎葉ヨシ子 (椎葉村)
一般の部	
優勝	中田智保子 (日向市)
準優勝	鈴木 敬 (延岡市)
第3位	川口 和代 (宮崎市)
優秀賞	椎葉 孝光 (日向市)
優秀賞	倉尾由美子 (南郷町)
優秀賞	山本 幸子 (美郷町)
優秀賞	山口 重利 (西都市)

大会成績

少年少女の部

優勝	小田有希子 (日向市)
準優勝	植木あずさ (日向市)
第3位	関口 爽伽 (日向市)
優秀賞	小田亜貴子 (日向市)
優秀賞	西立野彩加 (小林市)
優秀賞	黒木 瑠美 (美郷町)
優秀賞	田原 麻衣 (美郷町)
特別賞	
最年長	右田 安男 (椎葉村)
最年長	甲斐スエ子 (高鍋町)
最遠方	村上今朝子 (広島県)
最年少	田原 美紀 (美郷町)
審査員賞	菊池 芳盛 (日向市)
審査員賞	大庭美千代 (高鍋町)



▲各部門の優勝者。(中田さん、椎葉さん、小田さん)

伝統を未来へ!

大河内臼太鼓踊り



9月24日、大河内八幡神社にて大河内臼太鼓踊りが行われました。中秋の日に大河内地区の祖先神をたたえて踊りを奉納する、伝統の祭りです。

この祭りも、平成16・17年と、台風被害による中止が続き、伝統の継承に危機感が漂い始めていました。ようやく昨年・今年と続けて開催することができ、地区の住民は胸をなでおろしています。

今年も地区の保存会員が集まり、伝統の踊りを奉納しました。

村内には臼太鼓踊りだけでなく、さまざまな伝統文化があります。過疎化に伴う担い手減少など、存続にはさまざまな困難もあります。しかし、どの伝統文化も地域全体の力を寄せ合い、着実に継統されています。伝統を未来へつなげている力は、私たちの誇りなのです。

(大河内モニター委員・小川弘志)

来年へつなぐ好成績!

第2回 東白杵郡民体育大会

【総合成績】 優勝 門川町174点
2位 椎葉村153点
3位 美郷町131点
4位 諸塚村 81点

9月2日、門川町で行われた東白杵郡民体育大会で、本村チームは惜しくも2連覇を逃し、総合2位となりました。今回は新しい枠組みでの2回目の大会で、昨年からさらに北川町が減り4町村での大会。門川町が選手層の厚さを見せつけ、地元優勝となりました。ただし、昨年5位だった本村の女子の部が、今回は2位と大健闘。そして、次は椎葉村が開催地。来年へつなぐ好成績を残してください。

個人成績 ※3位入賞者

男子の部
B 100m 1位 椎葉聖哉(12秒2)
2位 那須力男(12秒7)

◎ A 29歳以下・B 30歳・C 49歳・
D 50歳以上

女子の部

◎ A 29歳以下・B 30歳・C 49歳・
D 50歳以上

中学200m	1位	椎葉幸太(25秒9)
共通200m	3位	右田雄大(26秒6)
B 3000m	1位	羽川 真(25秒1)
B 3000m	2位	中村義市(10分38秒)
C 3000m	3位	黒木光太郎(13分7秒)
D 3000m	1位	椎葉 豊(11分6秒)
E 3000m	2位	黒木武人(12分23秒)
中学400mR	1位	(50秒2)
共通800mR	3位	(1分46秒)
A 走幅跳	2位	椎葉聖哉(5m83)
B 走幅跳	1位	甲斐健二(5m35)
C 走幅跳	2位	椎葉幸司(5m32)
共通走高跳	1位	椎葉雅孝(5m30)
A 砲丸投	1位	椎葉幸司(1m60)
B 砲丸投	2位	椎葉貴大(11m50)
C 砲丸投	1位	甲斐秀二(11m50)
※A B砲丸・5・4kg		
C 砲丸投	1位	右田忠仁(10m95)
D 砲丸投	1位	岡村正司(12m23)
E 砲丸投	3位	黒木保隆(10m82)
※C D E砲丸・4kg		
D 60m	1位	那須邦子(10秒8)
中学100m	1位	荒竹知世(14秒8)
C 100m	2位	那須美代子(16秒4)
共通走幅跳	3位	日與川瑠美(3m)
A 砲丸投	2位	羽川沙緒理(7m52)
B 砲丸投	1位	甲斐智美(8m15)
※A B砲丸・4kg		
C 砲丸投	1位	荒竹ちよみ(9m8)
※C砲丸投・2・7kg		

「遊書」教室



▲講師は鹿瀬アヤ子さん、鹿瀬美智代さん。

8月30日、開発センターで障がい者スポーツ教室が行われました。今回の競技は「卓球バレー」で、1チーム6人が卓球台を囲み、木の板のラケットでボールを打ち合うゲーム。バレーのルールも取り入れ、大人数が同時にプレーできることから人気が高まっています。また、午後に行われた「遊書」では、筆を使い思いの言葉を書き、額に収めて持ち帰りました。

スポーツ教室



▲歓声を上げ白熱のラリーが続きました。

ゲートボール 定期大会



▲決勝戦は上椎葉と竹の八重。(9月13日・村グラウンド)

上椎葉公民館 スポーツ大会



▲ミニバレーとグラウンドゴルフ。(8月26日・村体育館)

長寿学園 「カローリング」



▲カローリングの要領で楽しめます。(8月22日・村体育館)

「青少年の主張」

優良賞を受賞！

応募総数2029人。この中から各地区の書類選考を経て代表となったのが9人。この代表の1人として松尾中3年の甲斐愛美さんが選ばれ、8月22日に宮崎市で開催された「青少年の主張県大会」に出場しました。

愛美さんは、「見えない絆」と題して、平成17年の台風14号で被災した経験をもとに、家族の大切さを感情豊かに訴え、みごと優良賞に輝きました。

文章能力、表現方法が素晴らしく、とても感動する内容となっていましたので、本文を紹介させていただきます。



▲優良賞を受賞した甲斐愛美さん

見えない絆

きずな

椎葉村立松尾中学校

三年 甲斐 愛美

「孤立した村・椎葉村」

二年前。台風十四号に襲われた私たちの住む椎葉村は、こう呼ばれていました。

平成十七年九月五日。宿題に追われる中学校一年生の私。父や祖母とテレビを見ている小学生の妹。家の中はいつもと同じように穏やかではありませんでしたが、外では雨が激しく降り続き、風がごうごうと鳴っていました。そんな中に母の姿はありません。母は仕事先の老人ホームで台風に向けて泊まっていたからです。

翌朝、私達は台風十四号の恐ろしさを思い知らされました。学校に連絡をとろうにも電話は通じません。電気もこなくなりました。何も出来ないまま過ごし雨が少しおさまった午後、私は父と外に出ました。見慣れたはずの風景は大きく変わり、私の家から少し行った所の道は崩れた土砂によって完全に塞がれています。大きな岩は、言葉なく立ちつくす父と私を冷たく見すえているようでした。この道を通るより他にここを出る術はありません。また、母とは全く連絡がとれませんでした。いつも傍に

居て当たり前の母が居ないということが、私は恐ろしくなりませんでした。それから四日間は、長く辛い日々

でした。どこにも連絡がとれず、情報のない四日間。父は地域の人と協力して土砂をどけ続けました。そして毎日、汗と泥にまみれて帰って来ました。祖母はそんな父と私と妹の食事の世話をしてくれました。母が居ない今、祖母はこの不便な生活の中で、一切の家事を負担することになりました。私には、父のような体力も力も無ければ、祖母のような昔の知恵もありません。だから、妹と共に精一杯祖母を手伝いまして、そんな忙しい日々でも夜になると、一本のろうそくの周りで、「お母さんは大丈夫やろうか。」と、誰かが必ず言いました。いつも居ることには慣れてるのに、居ないことにはちっとも慣れませんでした。

台風が襲われたあの日から六日目の九月十一日。道を塞ぐ土砂は少しずつ減ったものの、人がよじ登って越えるのがやっとというくらいの状態でした。その朝、土砂の山を越えてこちら側に来た人がありました。母です。母が帰って来たのです。久しぶりに聞いた「ただいま」の声に今までの不安が嘘のように溶けていきました。私も妹も父も祖母も久しぶりに笑顔が浮かべました。母は休む間も惜しんで、父と共に土砂を片

付けに行きました。そして九月十二日、父と母、地域の人達の懸命な努力により作られた道を通って、私と妹は学校に行くことができたのです。あれから二年経った今でも台風十四号の爪痕は椎葉村内のあちこちに残っています。台風十四号により、私達は多くのものを失いました。暮らしてきた家、生活を潤していた木々、そして尊い人の命までも。しかし、私は苦しかった生活の中で得難いものを得ました。それは「絆」です。「得た」という表現は正しくないかもしれませんが、家族一人一人の間にずっとあった見えない絆を、長い年月気付かずに過ごしてきた絆を見つけたのです。家族の大切さをとっても重く感じます。一人欠けるといふことがどんなに不安か、みんながいるということがどんなに幸せかを、この経験から身をもって知りました。

「家族は大切」当たり前のことかもしれないませんが、それを実感したことのある人がどのくらいいるのでしょうか。絆は目に見えるものではありません。しかし、みえる瞬間があることを知ってほしいと思います。私達、椎葉村内の中学生は高校に通うために、卒業後、家族と離れます。家族と離れても、目に見えない絆を、忘れないように、失くさないように私は生きていきます。見えないけれど、確かに存在する家族の絆を大切にしながら。

犬は決して悪くない：③

それでも犬は悪くない!

引取の状況

現在、飼えなくなった犬・野犬などの捕獲犬は、無料で宮崎県（保健所等）が引き取っています。しかし、全国には引き取りに2,000円〜10,000円の引取料が必要な自治体もあり、九州地区でも鹿児島県が平成18年10月1日から、引取手数料2,000円を徴収しています。宮崎県では、現時点では未定となっていますが、当然近い将来には有料化になることも予想されます。

また、日向入郷地区内では椎葉村の引取割合が最も高く、飼い主に動物愛護・飼育管理責任等、意識の向上が求められています。今後、本村でも飼い主のいない犬・不用犬として出される犬のために、動物の地域ネットワークを拡げ、少しでも多くの命を救う様々な計画をしていきたいと思っています。

事故・苦情内容

犬の咬傷事故が全国で多数発生しています。中でも非常に悲惨な事故は大型犬によるものが多く、特に注

意が必要です。平成16年に東郷町で発生した土佐犬による咬傷事故では、小学3年生の児童が被害者となり、命に別状はなかったものの、発声ができにくくなる程の重傷となりました。この土佐犬は、狂犬病予防法で定められた登録がなされず、注射も受けていませんでした。
放し飼いによる咬傷事故や糞をまき散らす等の苦情は、椎葉村役場にも多数寄せられています。

権利と義務

犬を飼うというのは国民の自由な権利です。しかし、その権利には適正な飼育をするという義務が伴います。法律やマナーを守る。適正に飼育をする。周りの人に迷惑をかけず、イヤな思いをさせない。それが自分でできているのか…。
今一度、よく考えてみてください。

■犬や猫に関する問い合わせ先

役場 税務住民課 環境衛生係
☎098216713205



▲道路に寝そべる犬。繫がれないのは犬の責任ではない。

東臼杵南部地区農山漁村いきいきパートナーの集い

8月30日、日向市のJA会館で東臼杵南部地区農山漁村いきいきパートナーの集いが開催されました。

これは、地域内の農林水産業に携わる男女の共同参画社会づくりと組織間の情報交換・連携強化を目的として毎年催されるもので、JA女性部や加工グループ、林研グループ、農業委員など300人以上が参加。椎葉村からも28人が参加しました。特に今回は『集落営農ってなんだろう?』と題したパネルディスカッションを実施し、川の口営農組合の右田圭之会長がパネラーとして意見を述べました。

また、午後は参加者がそれぞれ持ち寄った地域の手作り料理を囲み、立食でのランチ交流会・飛び込み大歓迎の1分間スピーチなどが行われ、参加者はおいしくて楽しいひと時を過ごすと共に、食の重要性を改めて認識し農業への意欲を新たにしました。



▲たくさん並んだ手作り料理。

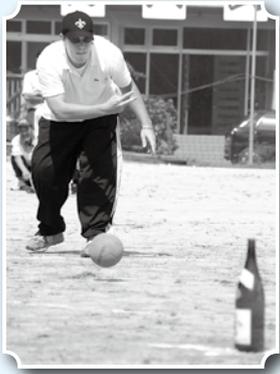
葉充村長の9月の動き



- 2日 郡民体育大会（門川町）
庁議（役場）
- 3日 予算査定（役場）
- 4日 交通安全合同会議（役場）
- 6日 監査講評（役場）
- 8日 ひえつき節日本一大会予選（開発センター）
- 9日 ひえつき節日本一大会決勝（開発センター）
- 11日 9月議会定例会（～14日・議場）
- 19日 入札（役場）
- 21日 交通安全街頭キャンペーン（平家本陣）
- 26日 村議会陳情活動（日向市）
- 29日 日向市村人会（日向市）



▲郡民体育大会で大会旗の引き継ぎ（2日）



An Outside Thought

～ケビン、椎葉を行く～

Kevin VanEvery

ケヴィン ヴァンエブリー
(椎葉村外国語指導助手)

Hello again. I've started to get settled in here in Shiiba. I've found where most of the stores are, and ever one place to get a meal cooked. The weather has cooled down a spell too, which is nice. Better than that though, school has re-opened and I've started teaching. It's quite a nice change of pace; I feel like I'm doing something useful with myself, and I hope that I am. Everyone at both Shiiba and Matsuo junior high schools have been extremely nice to me, and I felt right at home almost as soon as I arrived. A lot of my

time so far has been spent helping prepare some of our English students for their upcoming speech contest in October. I've been helping them with their pronunciation and their grammar, and I have to say, they all look to do well when their turn to speak comes around. I have a lot of wonderful students, and any parents who might be reading this will be happy to know that they've been nothing but respectful. I haven't had any trouble from any of them, and they all seem like bright, friendly youngsters.

I've also had the pleasure to participate in a couple of Sports Days. It's a brand new thing for me, since we don't hold Sports Days in America. I was surprised to find that all of the students competed and was equally surprised by some of the strange events. The inter-club footrace where each club ran the track doing various things with wooden swords, tennis rackets, volleyballs, or whatever tool was appropriate for the particular club looked like a lot of fun. I also got a chance to try a couple of strange games myself, and I pulled in a couple of tug-of-war matches.

I've had one more new, uniquely Japanese experience as well. I've now tried shochu for myself, and I learned my first word of the local Shiiba dialect: ganburi. I hope I've been saying it right.



▲椎葉中の1年生（9月11日）

皆さんこんにちは。先月から僕は椎葉に住み始めました。おおよそどの店がどこにあるか覚えましたが、その中で調理してある食べ物を手に入れることができる店を今のところ1軒だけ見つけました。8月に比べると気温もだいぶ下がってきて過ごしやすくなってきました。学校も2学期を迎え、僕の教師の仕事が始まりました。これまでの変化は僕にとってちょうどいいペースでした。僕は役に立つ仕事をしているなって一実際そうであればいいけどー実感します。椎中・松中どちらの学校の人々もとても良くしてくれて、僕は着任早々家にいるようにリラックスできました。今のところ、10月に開催される英語のスピーチコンテストに出場予定の生徒の指導が主な仕事になっています。僕は英語の文法や発音を教えています。生徒たちはとても上手になっているので、本番でもきっとうまくいくでしょう。みんなとてもいい生徒だから、これを読んでいる両親たちも子どもたちがすばらしいと知って喜ぶでしょう。今までは何のトラブルも起こってないし、生徒たちはみな明るくて親しみやすい子ばかりです。

そして、僕はうれしいことに2つの体育大会に参加できました。アメリカにはこんなスポーツ大会はありません。体育大会に全ての生徒が出場するのもびっくりしたし、大会の中に奇妙な催しが含まれているのも驚きました。たとえばクラブ対抗リレー。どのクラブの選手もテニスラケットやバレーボールやその他クラブで使うような色々の道具を持って何かをしながら走りとてもおもしろかったです。僕はあと二つの奇妙なゲーム（団技）に出場し、そして綱引きにも2回とも出場しました。



▲松尾中の1年生（9月20日）

もう一つだけ、日本らしいユニークな体験をしています。今、自分で焼酎をためています。椎葉で最初に覚えた方言は『がんばり』です。僕は『がんばり』をちゃんと使えるようになりたいと思っています。

和訳：山中千夏さん（桑の木原）

椎葉の民話

96



「鴛鴦夫婦のお話」

語り手 那須英一さん(水越)

昭和5年4月1日生まれ

昔、お江戸の高田の馬場の村外れに、佐助という若者が任んでおったそうなの。佐助は、畑をいっばい持つている百姓じゃった。毎朝、東の方を向いて「天の神様、この世で一番美しい嫁御を授けて賜うれ」ちて、拜んでおった。その願いが通じたのか、ある日の夕方に、年のころは十七、八。若い娘がやって来た。「私はオツルと申します。私を貴方様の嫁御にして賜うれ。」佐助は「そりゃあ、天の神様の授けものじゃ」ちて娘の手を引いて、家の中に案内して、その晩から嫁御にした。

たなら、私の顔を、絵に描いてあげた。佐助は、オツルに描いてもらったオツルの絵を、畑に持って行って、畑の畦に立て、それを見い見いしては、畑を耕しておった。

ところがある日、大風が吹いて来て、オツルの絵は、天高く舞い上がって、千代田のお城の方へ、飛んで行ってしまった。

それから佐助は家に戻って、そのことをオツルに話した。オツルは、「そんなら明日から、わたしも一緒に行て、畑仕事を手伝いませう。」それから毎日毎日、オツルは、佐助と一つ足に①、畑仕事に出掛けた。近所の人々は、「佐助は良え嫁御をのさったものだ②。まあ仲の良えことじゃ。」そのように評判がたつておった。

秋も深まり、唐黍やら野稻③やう、収穫する時期になっておった。ちよつど畑の横に、大けな梨の木が立っておった。その梨の木に、大けな梨の実が、いっばいなつておった。佐助は仕事の手を休めて「オツルに梨の実を食わせにやいかん」ちて思つて、佐助は、その大けな梨の木に登つて、梨の実をとつて、オツルに食わせよつた。その梨の実がなんと甘いことか。オツルは喜つて、梨の実をいっばい食べよつた。ちよつどその時、千代田のお城の方から將軍様の行列がやって来た。佐助とオツルは、梨の木の側で十下座をして、畏まった。そこに將軍様の行列が、「下にい、下にい」と言つてやって来た。

ところが將軍様は、その大けな梨の木の、大けな梨の実を、お籠籠の中から見つけて、にわかに行列を止めて、家来の者を呼んで「あの大けな梨の木の、大けな丸い梨の実を、取つて参れ」と言つた。そこで家来は、佐助に気が付いて、「こりゃ百姓。將軍様に気が付いて、「こりゃ百姓。將軍様が、その梨の実を食べたいぞうじゃ。お前、もいで参れ。」そこで佐助は、梨の木に登つて、いっばい梨の実を取つて、將軍様に差し上げた。將軍様は、その梨の実を食いながら、「すりゃあ、甘い梨じゃが」ちて言つて、喜つておったが、オツルを見付けて、「その女は、一ヶ月ほど前、風に吹かれて、お城の庭の木に掛かっておった、あの絵の女子じゃ。さっそく奥女中に召し抱える。」ちて言つて、オツルを籠籠に乗せ、連れて行つてしまつた。

それからというもの、佐助は何もして仕事も手につかなかつたが、町に行て、鍋やう、羽釜④やう、焙烙⑤やう買つて来て、それを籠に入れて、天秤棒で担つて、千代田のお城の回りを、オツルに届け、とばかり、振り売りにして回り始めよつた。

鍋やあ羽釜やあ焙烙やあ高田の馬場の畑の横のあまい梨を取ると、きい若い鼻をとられたあちて振り売り声をあげながら、毎日毎日、千代田のお城回りを、走り歩いておった。その佐助の振り売り声を、お城の奥座敷で聞いたオツルは、ちよつどの隙の暇を見て、お城から逃げ出した。ちよつて、佐助と一緒に、ドン・ドンドン、川の横を逃げて行きよつた。オツルが逃げたことを知つた奥座敷の方では、家来たちが追つて、駆けてきた。

佐助に着せ、佐助の着物をオツルが着て、二人は、手に手に取つて、川に身を投げた。追つ手が川に駆けつけたときには、オツルと佐助が川に身を投じた後じゃつたが、不思議なことに、その川には、鴛鴦夫婦が仲良く泳いでおつたという。そのころから仲の良え夫婦を、鴛鴦夫婦と呼ぶようになった、というお話。

(聞き手 西南学院大 山中耕作)

話 型 II 絵姿女房

発端句 II 昔、お江戸の

結末句 II というお話

① 一つ足に II 一緒に

② のさつたものだ II 授かつたものだ

③ 野稻 II 陸稻

④ 羽釜 II 回りに鑊のある鉄の釜

⑤ 焙烙 II 素焼きの平たい土鍋

※話型は「絵姿女房」だが、場所が高田の馬場である。高田の馬場は、赤穂義士の一人堀部安兵衛の仇討ちの場所。義子銘々では、有名な場所であるが、そんな場所が、椎葉村の昔話に混入されていたのは、いささか驚きであった。やはり、英一さんのご先祖の寺子屋あたりからでた話かもしれない。ワープロを打ちながら不覚にもよい年齢をしていて、涙が出た。よい昔話だと思つて、話中の佐助の「鍋や 羽釜や」の振り売りの唄は、いちばんの聞かせ所だが、英一さんの唄は凄みさえ感じられた。

また、「鶴姫富」のツルの語源が知りたくて、散々悩んでいたら、「椎葉では水流の意味だ」と教えられたことがある。今、川で鴛鴦に転生したオツルを考えると、有力なヒントのように思われる。やはり折口信夫の説く「水の女」なのだろうか。(西南学院大名譽教授 山中耕作)

戦没者追悼式について

今年も次のとおり戦没者追悼式を行いますので、ご遺族や関係者の皆様は出席をよろしくお願いします。

- 期日 11月2日(金)
- 時間 10:00～(受付8:30～)
- 場所 村開発センター
- 問い合わせ先
役場 福祉保健課 福祉係
☎0982-67-7513

「森とむらのフェスティバル」の開催について

美郷町西郷区にある宮崎県林業技術センターで、「森とむらのフェスティバル」が開催されます。子どもから大人まで楽しめる多彩な内容となっていますので、皆さんの参加をお待ちしています。

- 期日 10月27日(土)
- 時間 10:00～15:00
- 場所 郡美郷町西郷区田代
宮崎県林業技術センター内
- 参加費 無料
- 内容
(学 ぶ) 試験研究展示、チャレンジ「樹木博士」
(楽しむ) 木工教室、つる細工教室、ツールペイント教室、葉脈しおり教室、どんぐり・松ぼっくり自由工作、高性能林業機械操作体験、木炭無料配布など
(味わう) うどん・シイタケ試食、ふるさと特産品販売
- 問い合わせ先
宮崎県 林業技術センター
☎0982-66-2888

「よろず情報相談室」の設置について

役場農林振興課では、農林業のよろず相談を行います。必要がなくなり、譲ってもいい機械や施設、譲ってほしい機械、珍しい植物や種・苗等の交換、教えて欲しいこと等幅広く情報提供していきます。

- 問い合わせ先
役場 農林振興課
☎0982-67-3206

「ひえつきの里・駄賃つけの里交流会 in 椎葉」参加者募集!

諸塚村と椎葉村の農村女性指導士合同企画により、交流研修会を計画しました。秋ふかく色づいた紅葉を見に、大河内の山を一緒に歩いてみませんか? 昼食には、椎葉の山の幸をふんだんに使ったこだわりの料理を囲んでみんなでおしゃべりしましょう!

- 期日 10月27日(土)
- 時間 8:00椎葉村役場発(マイクバス乗車)
- 参加資格 農業を営んでいる女性とその家族(椎葉村より15人・先着申し込み順)
- 参加料
大人1,000円・小学生以下500円(食事代、保険料含む)
- 申し込み先
役場 農林振興課
☎0982-67-3206
FAX0982-67-2825

農用地の違反転用に注意

田や畑を他の用途に使いたいときは、届出が必要です

「田や畑を埋め立てて宅地や倉庫、資材置き場にしたい。段差のある田畑を埋め立てして改良したいんですが…」このような場合は、農業委員会に届出が必要です。農用地(田、畑)を耕作以外のことで使用することは農地法という法律で規制がされています。つまり、農業委員会の許可を得ないで無断転用した場合、登記上の地目や所有者名を変えることができないことから、将来的には売買ができなくなります。無断転用者には、県知事が工事等を中止させ元の農地に復元するよう命令する場合があります。また、農地法違反で刑事告発されると最高3年以下の懲役又は300万以下の罰金に処せられることがあります。

「自分の土地なのに…」と思われるでしょうが、例えば農用地が隣接する場合、隣が建物を建てたり、植林したりしたら、日当たりなど色々な面で問題が起こってきますし、誰でも農用地を売買できたら、日本に個人が所有する農用地がなくなるかもしれません。

農地の転用等について相談等がある方は、以下の地元農業委員か農業委員会(67-3206)にお気軽にお問い合わせください。

農業委員名簿

◆上椎葉地区

那須盛男(67-2578)
那須文治(67-2670)
那須朝光(67-2286)

◆鹿野遊地区

那須瑞穂(67-2813)

◆仲塔地区

黒木 守(67-4903)

◆尾八重地区

那須 悟(67-5943)

◆尾向地区

尾前義弘(67-5316)

清田 泉(67-5208)

◆不土野地区

那須宗則(67-5337)

◆柵尾地区

黒木照美(59-0409)

◆小崎地区

椎葉重徳(67-2126)

◆大河内地区

椎葉 朗(38-1046)

◆松尾地区

荒竹和久(67-1819)

那須重喜(67-1635)

お知らせ

10月

- 椎葉村ホームページ
http://www.vill.shiiba.miyazaki.jp
- 椎葉村メールアドレス
shbwebm@vill.shiiba.miyazaki.jp

村内の動き ●9月1日現在

男	1,656人 (- 4)
女	1,651人 (- 8)
計	3,307人 (-12)
世帯数	1,268戸 (- 2)

お知らせ

10月の納税について

10月は、村県民税(3期)と国民健康保険税(5期)の納税月です。期限内(10月31日)までに納付していただきますようお願いいたします。

- 問い合わせ先 役場 税務住民課
☎0982-67-3205

行政相談の開催について

行政相談が次のとおり行われます。行政に関する事ならどんなことでもけっこうですので、気軽にご相談ください。

なお、10月15日(月)～21日(日)は秋の行政相談週間です。期間中には、行政相談委員・人権擁護委員・心配ごと委員による三者合同相談を行います。(秘密は堅く守られますのでご安心ください。)

- 期日 10月9日(火) ※定例
10月16日(火) ※合同
11月13日(火) ※定例
- 時間 10時～15時 ※毎月第2火曜日
- 場所 椎葉村高齢者センター

「心配ごと相談所」の開設について

心配ごと相談が次のとおり行われます。心の悩みを相談してはいかがでしょうか。

- 期日 10月15日(月)・11月19日(月)
※毎月第3月曜日
(ただし、祝祭日の場合は翌日)
- 場所 保健センター「すこやか館」
- 問い合わせ先 社会福祉協議会
☎0982-67-2275

こころの健康相談について

精神障がい者や家族及び地域住民を対象に、医療や精神福祉に関する相談を実施しています。費用は無料で、精神科医師や保健師が相談にあたります。予約制ですので事前に連絡をしてください。

- 期日 10月16日(火)
(担当：保健師が対応)
11月20日(火)
(担当：協和病院医師)
※毎月第3火曜日
- 時間 13:30～15:30
- 場所 日向保健所
- 予約申し込み先
日向保健所 健康づくり課
疾病対策担当
☎0982-52-5101

高齢者に関する移動相談について

宮崎県高齢者総合相談センターによる移動相談が開設されます。相談はすべて無料です。お気軽にご相談ください。

- 期日 11月22日(木)
- 場所 保健センター「すこやか館」
- 相談 一般相談、法律・リハビリ・健康・介護に関する事など
※時間 9:00～12:00
- 講話 悪質商法について
※時間 10:10～11:30

「椎葉のみなさん一裁判官とかたらんネ！」

裁判所では、裁判員制度に対する理解を深めていただくために、裁判官との対話形式による意見交換会を実施します。たくさんの方の参加をお待ちしております。

- 期日 10月28日(日)

- 時間 13:00～16:00
- 場所 村開発センター
- 問い合わせ先
宮崎地方裁判所 総務課庶務係
☎0985-23-2263

プロのフルオーケストラがやってきます!

文化庁の事業により、松尾中学校でオーケストラ・コンサートとスーパーマリンバ・コンサートが開催されます。プロの演奏を生で聴くことができる、めったにないチャンスです。ご近所お誘いの上、ぜひお越しください。

- 【オーケストラ・コンサート】
～東京ニューシティ管弦楽団演奏会～
- 期日 10月17日(水)
- 時間 13:30～15:00 ※開場13:00
- 【スーパーマリンバ・コンサート】
～打楽器アンサンブル～
- 期日 10月21日(日)
- 時間 14:00～15:00 ※開場13:30
- 場所 松尾中学校(体育館)

■ その他
参加料は無料で、事前の申し込みも必要ありません。ただし、静かに聴ける方に限ります。

- 問い合わせ先
椎葉村立松尾中学校 担当 都成となり
☎0982-67-1011

10月は土地月間です

国土利用計画法では、一定面積以上の土地売買などを行った場合、土地の権利取得者(買った方)は契約後2週間以内に土地の所在する市町村長を経由して、県知事に届け出ることが義務づけられています。(山林等も届出の対象です。)

椎葉村では、購入した土地が10,000㎡(1町歩)以上の面積がある場合は必ず届出が必要です。土地の有効利用の実現のため、村民の皆様のご理解とご協力をお願いします。

- 問い合わせ及び届出先
役場 総務課
☎0982-67-3203

カメラさんぽ

「巨木の里」の合唱団

平成2年の「巨木の里」シンポジウムでの出会いを縁に、佐賀県武雄市から椎葉村へ歌のプレゼント。



▲「合唱団やまびこ」による愛唱歌。前日には八村杉の下で歌声を披露しました。(8月26日・開発センター)

12年ぶりの地元優勝

ひえつき節日本一大会・正調部の地元優勝は、12年ぶり9人目の快挙。※大会成績は8ページ



▲入賞した右田安男さん、野村ケサ子さん、椎葉アスエさん、椎葉きよ子さん、椎葉ヨシ子さん。(9月9日)

岩崎さんへ落語披露

歌手の岩崎宏美さんがテレビの撮影で不土野小学校へ。照れる子どもたちとは対照的に、大人は大騒ぎ。



▲始めて生で見た落語に感激の岩崎さん。記念撮影も気さくな笑顔です。(9月6日・不土野小学校)

平寿園で生け花教室

平成4年より続く生け花教室。入園者は四季折々の花に喜びの笑顔。自然と会話にも花が咲きます。



▲椎葉テルヨさん(上椎葉上2)と那須サクエさん(間柏原)が指導しました。(9月13日・平寿園)

台風14号災害追悼式

2年前の土砂崩れ災害現場での追悼式。消防車のサイレンを鳴らし、黙とうで3人の冥福を祈りました。



▲集まった消防団の幹部と本部の団員。さらなる防災力向上を誓いました。(9月6日・上椎葉上区)

秋の全国交通安全運動

スローガンは「交通安全ゆずる優しさ待つゆとり」。飲酒運転の根絶を願い、各地で座談会を実施。



▲街頭キャンペーンではチラシや飲み物を配り、交通安全を呼びかけました。(9月21日・平家本陣前)

見たことあるかな?



▲こんにゃく芋の実。5年ほど収穫せずに放っておくと花が咲き、実がなります。(尾向モニター委員・椎葉キク子)



▲ウスキノガサタケ。15cm程の大きさで、キノコの女王と呼ばれています。(情報提供：尾田山中・古川三鶴亀さん)



▲ソバの花。村内でよく見かけます。近くで見ると、小さくてかわいい花の集まりです。(川の口営農組合集落)

春夏秋冬 まるごと椎葉



▲一重と八重の花があり、色も白、桃、赤、紫、青紫と様々。
(小崎地区臼杵侯・9月20日)



▲椎葉キヨ子さん（臼杵侯）はたくさん
の花に囲まれて大忙し。

すがすが
清々しい美しさ
深い思いやり(花言葉)

「トルコギキョウ」

「トルコギキョウ」はトルコ(国名)や花の桔梗ききょうとは関係なく、アメリカ原産でリンドウの仲間。水揚げがよくて花が長持ちするので、切り花としての需要が高く、職場や家庭で飾られているのをよく目にします。冠婚葬祭用としても広く利用され、一年を通して花屋にも並びます。現在、村内で栽培に取り組むのは10戸の園芸農家。8月下旬に始まった出荷作業は11月下旬まで続けられ、ツボミや花の数、本数や高さたかさが揃えられ、九州全域から遠くは関東方面へと送られていきます。



▲浜砂浩士さん(大藪)は栽培10
年目。愛情をたっぷり注ぎます。



▲収穫前の小さなほうれん草。太陽の光を浴び、大きく葉を広げます。
(矢立宮農団地・9月20日)

ポパイもビックリ
栄養たっぷり
「ほうれん草」

「ほうれん草」をポパイが食べると、とたんに元気になり超人的な力を発揮して悪者を退治するのはアニメの世界。自分もそうなりたいと思ったお子さんも多いことでしょう。ほうれん草はビタミンAや葉酸が豊富。また、葉酸が鉄分の吸収を促進するため、貧血予防に効果的。おひたし、胡麻和え、バター炒めなど様々な形で調理されます。現在、村内で盛んに行われている高冷地農業の柱となっている「ほうれん草」。市場評価の高さはもちろん、生産農家の努力の結晶と言えます。

おすすめの1冊 松尾中学校

『ハツテリ』
著／あさのあつこ(角川文庫)
主人公・原田巧は自分の持っている力に絶対的な自信を持っています。その巧が野球をとおして変っていくというおもしろい本です。



松尾中2年
中村 勇貴 くん



松尾中教諭
朝倉 かおり さん

『100万回生きたねこ』
著／佐野洋子(講談社)
誰かに飼われ100万回死んでも悲しみを知らぬねこ。自分だけのねこになった時、何かが変わる…。挿絵のねこの表情にもご注目を！

図書室だより

椎葉村開発センター
■問い合わせ先
教育委員会
☎0982-67-2850



『月人石』
書／乾 千恵(福音館書店)

あなたは字は生きてると思いますか？ この本は字を覚えるための本ではなく、字を感じ楽しむ絵本です。筆で書かれた「書」の生命力が感じられます。この本を読むときと何かを感じ取ることが出来ますよ。



『温室アイズ』
著／瀬尾まいこ(角川書店)

日本の平和ボケは学校の場でも存分に発揮されている。はたしてこの温室の中にも出口はあるのだろうか？ 二人の少女がおこした小さな奇跡！ ぜひ読んでみてください。

戸籍だより(8月分)

出生 おめでとう

椎葉 香純ちゃん
(針金橋団地) 智成・陽子さん

那須 洸太くん
(不土野中) 貴文・尚美さん

死亡

ご冥福をお祈りいたします

那須 トミ様(中ノ八重)九十一歳
椎葉 浪子様(春 山)六十八歳
中村ナミコ様(佐土ノ谷)九十二歳
甲斐美佐子様(上椎葉下3)四十八歳
那須オサモ様(針金橋)九十三歳

香典返し

故人の遺志を尊重し活用させていただきます

故 甲斐マサ子様(竹ノ八重)
故 椎葉 浪子様(春山)
故 那須 トミ様(中ノ八重)
故 甲斐ケサヨ様(雨木)
故 日隈 虎雄様(上椎葉上2)
故 中村ナミコ様(佐土ノ谷)
故 甲斐美佐子様(上椎葉下3)

11月の主な行事とお知らせ

- 1日 就学時健康診断(開発センター)
- 2日 戦没者追悼式(開発センター)
- 3日 椎葉郷土芸能の夕べ(博物館)
- 4日 県中学校秋季体育大会(〜6日)
- 6日 ニュースポーツ講座
- 9日 椎葉平家まつり2007(法楽祭・午後6時〜)(10日・11日・終日)
- 13日 秋の全国火災予防運動(〜15日)
- 13日 消防団防火査察(村内各地区) 予防接種(三種混合)
- 14日 小中学校へき地研究大会
- 15日 1歳6ヶ月・3歳児健診
- 16日 中学校薬物乱用防止教室
- 17日 椎葉郷土芸能の夕べ(博物館) 椎葉神楽(〜12月23日・村内各地)
- 18日 県中学校駅伝大会
- 19日 家庭の日(毎月第3日曜日)
- 20日 子牛セリ市(〜20日・延岡市) 予防接種(MR)
- 25日 ニュースポーツ講座
- 27日 とびがち大会
- 28日 乳児健診・BCG・ポリオ・乳児妊婦相談(すこやか館)
- 29日 乳カン・子宮ガン・骨密度検診(すこやか館)
- 30日 乳カン検診
- 29日 シンガポール学生椎葉ホームステイ(〜12月3日)

しいば俳句会

選評・角 光雄先生（あじろ主宰）

《特選》

夜すずに鳴く声清しちちろ虫

那須 瑞穂

〔評〕我ら人間どもが暑い暑いとぼやいている夜でも、虫たちは少しの涼味を知ると泣き出す。いち早く秋の到来を知らせてくれる。「清し」とは瑞穂さんのところに響くことば。

廃線の駅にひぐらし聞いて居る

小八重知津子

〔評〕廃線の駅と言えば、赤錆びた線路に雑草の伸び放題。改札口も待合室も汚す汚れ。誰も居ないベンチにひとり、蝸を聞く。かつて乗降客で賑わっていた事を思い出しながら。

夕立に追はれて園児走りけり

山茶 之実

〔評〕上空の雲からばらばらと降ってきた。園児たち、走り出す。帽子も靴も濡らしながら走る。遅い子も早い子もいる。喜々として走る。

《入選》

神殿に燈の入る頃や秋の蝉

中瀬 汀

峠茶屋卓上かざる萩の花

戸辺 好郎

張り付いた守宮が話聞いている

山本 和枝

幼な子おそおそ持ちぬ庭花火

黒木八重子

朝露を踏みつつ夫の田守かな

椎葉 満

波立つようにどの棚田にも稲穂かな

那須 正

少しづつほんの少しの新涼来

小丸川河童

一つ挽げば三四零れる零余子かな

小八重知津子

神楽殿色づいてゐる大銀杏

小八重知津子

俳句募集 〓 なたでも投句できます。毎月10日までに気軽に総務課へ送って

ください。(郵送・FAX可)

全国青年大会 出場決定!



▲ソフトボールの部で優勝した松尾青年会チーム

9月1日から2日にかけて行われた宮崎県青年大会において、松尾青年会がソフトボールの部、尾向青年会が剣道の部、上椎葉青年会の佐藤玲史さんが青年の主張の部で見事優勝し、全国大会出場を決めました。椎葉村の青年団が同時に3競技で全国大会に出場するのは初の快挙。11月9日から東京で行われる全国青年大会での活躍を期待します。

みんなで作ろう! 椎葉の「そんぼう」

「そんぼう」こと「広報しいば」では皆さんの情報をお待ちしています。村内どこへでも取材に行きます。また、ご意見・感想もお寄せください。

〒883-1160
宮崎県東臼杵郡椎葉村大字下福良1-747-20
椎葉村役場 総務課「広報しいば」係
電話：(0982) 671-32003
FAX：(0982) 671-28225

今月の表紙 Cover Message

「綱引き」



援、綱のきしむ音、両者ほぼ互角の争い。勝ったのは日当地区でした。

運動会で定番の綱引き。松尾地区では、川を境に日当地区と日添地区に分かれ、人数も体重も関係なく、大人も子どもも一緒に綱を握ります。そして、号令と共に選手のかげ声、観客席からの声援、綱のきしむ音、両者ほぼ互角の争い。勝ったのは日当地区でした。

編集後記

Editor's Comment

朝晩涼しくなり、すっかり秋めいてきました。秋と言えば、スポーツ・読書・芸術・収穫・食欲……。ウエブ検索をしてみると、一番多いのが「食欲の秋」。やっぱりおいしい秋の味覚と、ちょっと気になるウエブの肉。メタボリックは自分には無関係だと願いつつ、運動はいつかしようと思いつつ、イスに座ってパソコンとらめっこ。楽しみながら広報のレイアウトに頭を悩ませる毎日です。(リキ)

大自然へ出かけよう!

巨木を訪ねる①

「八村杉」

■名称

国指定天然記念物「八村杉」

■国指定年月日

昭和10年6月7日

■形状

樹齢 (伝承) 800年

樹高 19.54m

根回り 13.3m

幹周り 13.3m

十根川神社の境内へ入るとすぐに杉とイチイガシの巨木が出迎える。まずはその大きさに感心する。さらに奥へ進み神殿の先を見る。すると、そこにそびえ立つのが「八村杉」。今度はその大きさに驚かされる。単幹では県内最大の巨樹で、50mを超す高さは国内でも最大級。端正な姿が魅力的なこの大杉は、那須大八郎宗久の手植えの杉と伝えられ、椎葉の平家伝説において象徴的な存在ともいえる。



▲天高くそびえ立つ「八村杉」



ニシキギ科ニシキギ属の落葉高木。秋たけなわの10月、山の木の実は一斉に色づきます。その中に小さなピンクの果皮をまとった赤い種子が鈴生となり、枝もたわわな小さな木を見かけます。これがマユミで、実がかわいく美しいのでよく庭木に植えられています。元来は高さ10m、幹の直径30cmまで成長する木です。樹皮は灰黄褐色で平滑、縦に灰色の縞模様が出て、葉と小枝は対生します。葉は長さ5-10cm、幅2-4cmで細長い楕円形をし、秋に黄~橙色に色づきます。5、6月頃、枝先に小さな径1cm程の黄緑色した目立たない小花を咲かせ、花後に径1cmの果実が稔ります。果皮が4つに割れ、中からのぞく種子は鳥によって散布され、日本全土と朝鮮半島、サハリンにも産します。椎葉では合戦原奥地の九州大学演習林の林に高さ10m、直径30cm以上の極大に成長したものが見られます。

(九州大学宮崎演習林 内海 泰弘・井上 晋)



未来にはばだけ!



椎葉 ^{あせい} 旭晴 くん (竹ノ枝尾日当)

平成17年10月8日生まれ
おとうさん：幸司 さん
おかあさん：未央子 さん

お話が上手で最近では妹のお世話もしてくれま。優しく、元気に育ってね。家族の宝物です。



那須 ^{たくみ} 巧望 くん (佐礼住宅)

平成17年10月7日生まれ
おとうさん：建 さん
おかあさん：尚美 さん

この顔見たら110番! 我家の脱走常習犯です。言う事聞かん坊現行犯で逮捕しちゃうぞ!!

Face in October

中瀬 ^{しずか} 静 さん (22歳・竹ノ枝尾日当)

勤務先：JA日向椎葉支店
趣味：映画鑑賞・カフェ巡り

こんにちは。椎葉で働き始めて半年が経ちました。毎日が楽しくあっという間に過ぎてしまいました。これから、色々な経験を積み、沢山の方とお話が出来たらなと思います。どうぞよろしくお願ひします。



2007 (H19) 10月号